

# 地域の歯科保健事業に関する課題解決

## ～口腔の健康の地域格差縮小に向けた政策立案支援～



教育企画部 社会歯科学

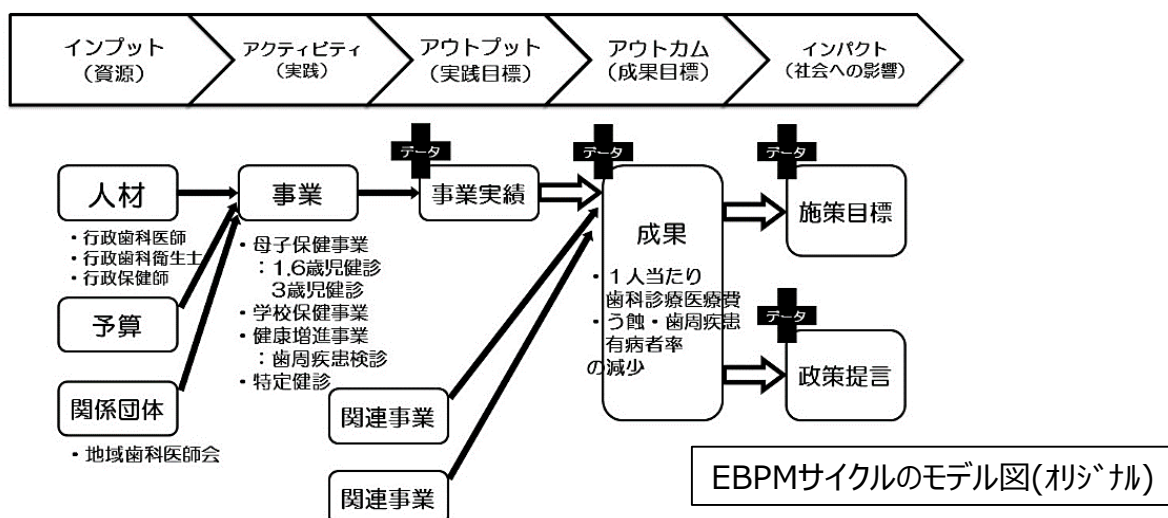
**渕田 慎也** FUCHIDA, Shinya 准教授 博士（歯学）

昨今、歯や口腔の健康においても格差縮小のための地域保健施策・事業が必要とされています。単にエピソードベースの対策ではなく、根拠に基づく政策立案（Evidence Based Policy Making：EBPM）の推進が求められています。

### 研究の内容・特徴・独自性

口腔の健康（う蝕、歯周病、口腔機能不全&低下）の地域格差を見える化（地域診断）した上で、その背景要因を統計解析していく研究に取り組んでいます。背景要因として、医療提供体制や社会経済要因だけでなく、住民のソーシャル・キャピタルやライフコース（教育・就業・婚姻・家族類型）指標を用いることによって、より生活に近いエビデンスの構築を目指します。

地方自治体の歯科保健施策・事業にあたり、政策課題の把握、政策効果の評価による改善と統計・業務データが有機的に連動するサイクル（EBPMサイクル）の支援を行います。



### 社会実装の可能性

地方自治体の歯科保健事業（健康増進事業、健診・検診事業）や医療保険業務などの支援

### アピールポイント

エビデンスベースの歯科保健事業で「自然に健康な歯・口腔になれる街づくり」を目指しませんか！

### 本研究に関する知的財産

- 1) Yamamoto T et al.(2015), Adult oral health programs in Japanese municipalities: factors associated with self-rated effectiveness. The Tohoku Journal of Experimental Medicine, 237: 259-266.
- 2) 矢田部尚子 ほか(2018), 歯周疾患検診の推定受診率の推移とその地域差に関する検討, 口腔衛生学会雑誌, 68(2):92-100.

### キーワード

歯科保健事業 歯科保健行政 口腔の健康の地域格差

<http://www.labs.kdu.ac.jp/syakaishika/index.html>